

# NHKスペシャル

## ●<sup>は</sup>這い上がれ～W杯サッカー日本代表“どん底”からの挑戦～ 6月17日(日) **総合** 午後9:00～9:49

4月、ワールドカップ開幕を6月に控えたサッカー日本代表に激震が走った。“ハリルホジッチ監督との契約を解除”日本サッカー協会が明かしたその理由は、衝撃的だった。「チーム内で信頼関係が欠如」「監督が求める高いレベルに選手がついていけなかった」。選手個々の実力不足を認め、チームがバラバラになっていたと明かしたのだ。4月に発表された世界ランキングは18年ぶりに60位台に転落。代表戦では空席が目立ち、視聴率も低迷するなど人気は急落している。もしワールドカップで惨敗すれば、“サッカー離れ”が一気に加速する恐れも指摘されている。初出場のフランス大会から節目の20年。今大会は、日本サッカーの浮沈を賭けた、“分水嶺”となる。いま「日本代表」に何が起きているのか、そして実質3週間という短期間で、“どん底”からどのように這い上がろうとしているのか。監督、選手、スタッフに密着し、さまよいつづける日本代表の真実を追う。



## ●驚異の得点力 日本に立ちはだかるストライカー<sup>たち</sup>達 6月18日(月) **総合** 午後7:30～8:15



6度目のワールドカップ出場を決め、世界的なリーグで活躍する選手を次々と輩出するようになった日本。しかし30年以上前から日本サッカーにとって課題は変わっていない。それは「得点力不足」。日本には試合を決める“絶対的なストライカー”が不足しているのだ。ロシア大会で日本が対戦する3か国には、奇しくもその課題に「1人」で答えを出せる、圧倒的な得点力を備えたストライカーが集まった。ポーランドのレバンドフスキ。コロンビアのファルカオ。セネガルのマネだ。いずれも圧倒的な身体能力、ゴールへの鋭い嗅覚、強じんなメンタルを兼ね備えた世界有数のストライカーだ。長年日本に現れないストライカー達はどのようにして生まれたのか…。番組では対戦国を訪ね歩き、彼らの歩んだ半生や、背負っているもの、国民の期待などをひもといていく。さらにそのスーパープレーも徹底解剖。日本が初戦を迎える直前、対戦国のストライカーに迫り、日本に足りないものを考えていく。

※タイトルはすべて仮題